

## 令和2年度 研修講座別 受講者数結果一覧

No.	研修講座名	対象	開催日	受講者数	前年度
1	学校経営Ⅰ	小中学校校長	7月15日(水)→ 半日日程	22	21
2	学校経営Ⅱ	小中学校教頭	8月5日(水)→ 半日日程	30	33
3	教職員のキャリア ラム・マネジメント	小中学校教職員	7月10日(金)→ 中止	・	15
4	学級経営(基礎)	小中学校教職員	9月15日(火)	15	20
5	学級経営(応用)	小中学校教職員	9月8日(火)	6	7
6	校内研修	小中学校教職員	6月10日(水) →資料配付	17	19
7	特別支援教育	小中学校教職員	7月17日(金)→ 2日日程が半日日程	20	38
8	幼保小の連携	幼稚園教職員 保育所保育士 小学校教職員	7月31日(金)→ 半日日程	29	32
9	学校と地域をつな ぐ社会教育	社会教育担当者 小中学校教職員	6月30日(火)→ 中止	・	34
10	学習指導 (授業づくり)	小中学校教職員	6月16日(火) →資料配付	14	19
11	学習指導 (授業改善)	小中学校教職員	9月2日(水) →資料配付	16	14
12	国語科	小中学校教職員	11月9日(月)→ 資料配付	24	84
13	社会科	小中学校教職員	8月25日(火)→ 2日日程が半日日程	7	25
14	算数・数学科	小中学校教職員	7月27日(月)→ 2日日程が半日日程	11	46
15	理 科	小中学校教職員	8月24日(月)→ 2日日程が半日日程	17	36
16	英語科	小中学校教職員	10月13日(火)→ 資料配付	13	27
17	外国語・外国 語活動(初級)	小中学校教職員	9月1日(火)→ 合同開催	14	10
18	外国語・外国 語活動(中級)	小中学校教職員		19	
19	道徳科	小中学校教職員	9月7日(月)	19	46

No.	研修講座名	対象	開催日	受講者数	前年度
20	音楽科	小中学校教職員	7月6日(月)→ 半日日程	13	29
21	保健体育科	小中学校教職員	8月7日(金)→ 中止	・	14
22	ICT	小中学校教職員	7月30日(木)→ 半日日程	10	17
23	学校保健	小中学校養護教諭	7月13日(月)→ 半日日程	17	41
24	学校事務	小中学校事務職員	8月31日(月)→ 半日日程	25	23
25	へき地複式教育	小中学校教職員	6月23日(火) →資料配付	8	9
26	食 育	小中学校栄養教諭 栄養職員 栄養士 小中学校教職員	7月29日(水)→ 半日日程	15	21
27	書写実技	小中学校教職員	8月6日(木)→ 半日日程	8	7
28	読書活動	社会教育担当者 小中学校教職員	9月11日(金)	10	11
29	ものづくり	小中学校教職員 社会教育担当者	8月18日(火)→ 半日日程	6	/
30	家庭科	小中学校教職員	・	/	11
	生活科・総合的 な学習の時間	小中学校教職員 社会教育担当者	7月29日(水)→ 半日日程	4	/
	図工・美術科	小中学校教職員	・	/	13

### 【ミニ道研】

プロ ブレ ン	①授業づくり②学級経営 ①児童生徒理解 ②小中 プログラム	小中学校教職員	<del>7月28日(火)</del> 9月25日(金)	21	25
---------------	-------------------------------------	---------	---------------------------------	----	----

※幼保小の連携講座－中ホールでの人数制限（30人以内）  
学校保健講座－第一研修室の人数制限（17人以内）

年度	受講者数	講座数
平成24年度	562人	28
平成25年度	605人	29
平成26年度	593人	29
平成27年度	608人	30
平成28年度	560人	30
平成29年度	616人	30
平成30年度	687人	28
令和元年度	760人	30
令和2年度	411人	30

令和2年度 市町村別・講座別 受講者数一覧

【研修講座】

	講座名	開催日時 *:2日予定 →1日変更	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	R2年度	R1年度	研修講座開催地・授業実践会場		外部講師	
			島牧	寿都	黒松内	蘭越	ニセコ	真狩	留寿都	喜茂別	京極	倶知安	共和	岩内	泊	神恵内	積丹	古平	余市	仁木	赤井川	小樽			会場・学校名	授業者		
1	I 学校・学級づくりの講座	学校経営Ⅰ(校長)	7月15日(水)	1	1		1		1	1	1		2	2	2			1		2		2	5	22	21	文化福祉センター		後志教育局義務教育指導監 神守一志氏
2		学校経営Ⅱ(教頭)	8月5日(水)	1	3		1	2	1	1	1		3		2	1	1	2	2	1	1	3	4	30	33	文化福祉センター		後志教育局義務教育指導班主査 小田浩平氏
3		教職員のキャリア・マネジメント	中止																					-	15			
4		学級経営(基礎)	9月15日(火)	1			1		1		1		3	1	1	1	1			4				15	20			
5		学級経営(応用)	9月8日(火)									1				1		1	1	2				6	7			
6		校内研修	・資料配付		1	2		1	1		1	1	4	1		1				2			2	17	19			
7		特別支援教育	7月17日(金)*					1	1		1	1	6	1	3					1	2	1	2	20	38			
8		幼保小の連携	7月31日(金)	2			1		1			1	5	3	5					1	10			29	32	文化福祉センター		医療法人社団 一視同仁会 札幌・すがた医院 作業療法士 中黒麗子氏
9		学校と地域をつなぐ社会教育	中止																					-	34			
10	II 実践と授業づくりの講座	学習指導(授業づくり)	・資料配付	1	1	1	2	1	1			2	1	1		1			1		1		14	19				
11		学習指導(授業改善)	・資料配付		1	1		1	3			1	3		1	1			1	2			1	16	14			
12		国語科	・資料配付		2		1	1		1			2	3	3	2	2	2		1	1		3	24	84			
13		社会科	8月25日(火)*	1		1		1				1								1		1		7	25			後志教育局義務教育指導班主任指導主事 金田唯史氏
14		算数・数学科	7月27日(月)*			2	1					1		1	1			1				1	3	11	46			後志教育局義務教育指導班指導主事 新栄 裕氏
15		理科	8月24日(月)*	1				1			1		2	2	2	1	1	1	1	1	1		2	17	36	文化福祉センター		
16		英語科	・資料配付					1	1		1		1		1	1	1	1		1	1	1	2	13	27			
17		外国語・外国語活動(初級)	9月1日(火)			1	2					1	2			1							1	8	10			後志教育局義務教育指導班指導主事 金本真一氏
18		外国語・外国語活動(中級)		1											2		1	1	1					6	19			
19	道徳科	9月7日(月)				1		1			2	1	1	6	3	1	1				1	1	19	46	岩内町立岩内第一中学校	山本 啓太		
20	III 高め指導実践を	音楽科	7月6日(月)	1	1		1	2			1	2						1	2		1	1	13	29				
21		保健体育科	中止																				-	14				
22		ICT	7月30日(木)								1	1	2		2					2			2	10	11			
23	IV 専門性を高める講座	学校保健	7月13日(月)	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	17	41			小樽市 ハンズオン・イーキンダーリープ 店長 杉本英樹氏	
24		学校事務	8月31日(月)	1	2		1	3			2	1	3	2	2	2	2		2				25	23	文化福祉センター			
25		へき地・複式教育	・資料配付				1	1	1					1		1	1	1				1		8	9			
26		食育	7月29日(水)	1			1	1	1	1		1	2	1		1	1	1	1	1			1	15	21			
27		書写実技	8月6日(木)					1			1		1					1		1			3	8	7			
28		読書活動	9月11日(金)					1				1	3	1						1			3	10	11			
29	V 開催講座	ものづくり	8月18日(火)					1			1			1	1							2	6		泊村立泊中学校			
30		生活科・総合的な学習	7月29日(水)			1						1								1		1	1	4				後志教育局義務教育指導班主任指導主事 金田唯史氏

【ミニ道研】

1	①授業づくりの基礎 ②生徒指導を生かした学級経営	中止																					-	10			
2	①教育相談を生かした児童生徒理解 ②小・中学校におけるプログラミング教育	9月25日(金)	4		1	1		1		1		6	2		2		1			1		1	21	15			

		411																					736			
R02年度 市町村別受講者数			17	13	10	16	20	17	5	14	17	54	26	34	24	12	18	11	40	9	14	40	411			
R01年度 市町村別受講者数			12	38	30	24	29	19	16	16	42	96	41	39	25	19	22	15	60	26	18	173	760			

## 令和2年度研修講座 受講者の意見・感想(アンケートより)

1. 「検温、ソーシャルディスタンス、換気などの対策が徹底されてありがたかったです。半日でも中止せずに開催していただいたおかげで、半年ぶりで元教頭仲間と会うことができました」  
(学校経営Ⅰ)
2. 「このような情勢の中、難しい判断だったかと思いますが、半日日程とは言え、開催してくださって大変ありがたいと感じております。これからもこのように学ぶ機会が数多くあることを祈っております」  
(学校経営Ⅰ)
3. 「直接会場でお話を聞くことができ、オンライン研修とは違う充実感がありました。ありがとうございました」  
(学校経営Ⅰ)
4. 「長時間になるより、半日日程が講座の今後のスタンダードになるのではないかと思います」  
(学校経営Ⅰ)
5. 「指導監の助言の一つ一つに勇気をもらいました。今回の資料を教頭にも見せたいと思います」  
(学校経営Ⅰ)
6. 「信頼される学校とは信頼される教職員の集まりということを確認でき、それをつくり出すのがコミュニケーションや力強い言葉がけである」  
(学校経営Ⅱ)
7. 「半日日程というコンパクトなパッケージに充実した内容が盛り込まれていて、とても良かったです。明日からのエネルギーとなりました」  
(学校経営Ⅱ)
8. 「大変な状況下の中、講師の先生方にたくさんの資料や情報を準備していただき、有り難かったです。が、やはり時間が全体的に短かったように感じました」  
(学校経営Ⅱ)
9. 「自分の課題としていた内容の話が聞けたので、半日でしたが、とても有意義な研修になりました」  
(学校経営Ⅱ)
10. 「色々制限された中で、開催していただき、大変感謝しています。特に今年は初任研も縮小され、研修の機会も少なかったので、大変助かりました」  
(学級経営-基礎)
11. 「目的を明確にし、どんな生徒に、人に育ってほしいのか考えながら指導に当たっていきたい。人の授業から学ぶことはたくさんあるので、機会があればまた授業参観がしたい」  
(学級経営-基礎)
12. 「コロナ禍の中で一日日程で行えたことは非常に有意義だった。今後もこうした研修の場があれば積極的に参加したい。年代の近い先生方と交流でき、モチベーションにもつながった」  
(学級経営-基礎)

13. 「教員として教えることだけでなく、学ぶ大切さを改めて実感することができました」  
(学級経営-基礎)
14. 「学級経営をどのように行うのか、結局答えはわかりませんでした。自分で考えて、色々な人に聞いて再考し続けたいです。どのようにしたら『心の扉』が開くのか、具体的な手立てや考え方を知りたかったです」  
(学級経営-基礎)
15. 「学級経営上、関わり方が難しい児童がいるため、他の先生方の考え方を学びたいと思って受講しました。悩みの共有ができ、少人数だったので、自分の意見もたくさん言うことができて良かったです」  
(学級経営-応用)
16. 「小学校で指導している内容をもっと知るべきだと感じました。小中連携の大切さが分かりました」  
(学級経営-応用)
17. 「今年度初めて学級担任となり、不登校児童生徒へのアプローチの仕方や小中一貫の必要性など、すごく参考になるものばかりで、自分自身の意欲が高まりました」(学級経営-応用)
18. 「日程が変更になったことで、何が最新の情報か、わからなくなったので、できれば直前(1ヶ月前ぐらい)に改めて案内がほしいです」  
(特別支援教育)
19. 「児童一人一人に対して抱えている悩みがそれぞれあることが分かり、特別支援教育の大変さが身にしみて分かりました。ベテランの方もたくさんいらしただけに、もっと深く悩みを相談したかったです。また、参加したいです」  
(特別支援教育)
20. 「コロナウィルスで大変な中、研修をひらいていただきありがとうございます。消毒、検温、座席や人数制限、換気、時間変更など防止対策を徹底されていたので、安心して受講することができました」  
(幼保小の連携)
21. 「幼稚園の研修で札幌などに行くと、履修した証として研修スタンプがもらえるので、是非検討してほしい。また、小学校の先生と交流できる場を増やしたり、互いの日常の保育・授業の参観を見られる機会をつくってほしい。情報交換したい」  
(幼保小の連携)
22. 「金田指導主事の教えて頂いたことが、かなり頭に入ってきて、講義中にこのように授業をやったり、年間計画を作ったりしようというアイデアが浮かんできました」  
(社会科)
23. 「おそらく時間の関係で省略したことが数多くあったので、やはり時間を多くとってより詳しく聞きたかったと思いました」  
(社会科)
24. 「半日日程となりましたが、コンパクトにまとめて説明があったので、分かりやすく理解が図られました。ありがとうございました」  
(社会科)
25. 「新学習指導要領における単元構成と評価のつながりについて、主体的に学習に取り組む態度とは粘り強さと調整力という押さえはすごくすとんと落ちました」  
(算数数学科)

26. 「学習内容を自分事として考えるための導入の工夫など、多くの技を学べたことが、今日の成果だと思う。もっと勉強して出直したい」 (算数数学科)
27. 「振り返りで出た疑問や身近なものを取り上げて課題を設定できると良いと思いました。今まで時間がなくて振り返りの時間を全然とれていなかったのが、今後大切にしていきたいです」 (理科)
28. 「普段の実践や考え方を知ることができ、例年とは違う学びがあった。理論研修で落ち着いて考える研修も良いと思いました」 (理科)
29. 「普通学級でやはりやりたいです。ずっと力が発揮できないでいます。同期は理科センターで活躍しているようですので、私も普通学級で仕事がしたいと思います」 (理科)
30. 「小中連携、授業実践例、質疑応答等でためになるなと思ったことを、研究通信などで発信し、同僚に伝えたいと思います」 (外国語・外国語活動)
31. 「普段、外部の先生に全て委託した授業なので、小学校の授業の仕方が分からなかったが、実践を知ることができた。古平小学校での実践が非常に参考になった」 (外国語・外国語活動)
32. 「コロナ禍にもかかわらず、授業公開していただき大変勉強になりました。やはり実践を通して学ぶことは大切だと再認識しました」 (道徳科)
33. 「細かく対策をとられていたので、安心して受けることができました。4月以降、他校の先生方との交流の機会がなかったので、とても良い時間になりました」 (音楽科)
34. 「とても勉強になる内容ばかりでしたが、もともと知識がなかったので、とても難しく、自分ももっと簡単な内容だと有り難かったです」 (ICT)
35. 「アナログとデジタル教材を上手に使い分けながら、子供たちの深い学びにつなげていけたらと思います」 (ICT)
36. 「養護教諭の皆さんと会い、話して、元気とやる気をもらいました。明日からまた頑張れそうです。半日でしたが、かなり濃い研修で良かったです」 (学校保健)
37. 「様々な対策の上でこのようにリアルで会える機会を確保していただき大変ありがとうございます。やはり直接顔を合わせての研修は大切と感じました。創造的な日常実践をしつかりと行っていきたいと改めて思いました。」 (学校事務)
38. 「この状況下、万全の態勢で講座を開講していただきありがとうございます」 (学校事務)
39. 「今後も午後日程となるならば、3回くらいは開催してほしい。全員対象の講座を1回、

経験年数別で2回という方法も考えてほしい」

(学校事務)

40. 「夏休み期間の実施予定だったものが給食のある日になり、参加に迷いが出ましたが、コロナ対応についてたくさんの情報を交流することができ、参加して良かったです」 (食育)

41. 「一日日程なら小筆や硬筆もやりたかったです」

(書写実技)

42. 「時間は短縮されましたが、内容は充実していました。『じっくり書いて学ぶ』良さもありますが、『焦点化してコツをつかむ』という研修もよかったです」

(書写実技)

43. 「コロナ禍の中、柔軟に対応して開催していただき本当にありがたいと感じています。複数の講座を受講しましたが、どれも学ぶことが多く、「がんばろう」と意欲がわきます。ありがとうございます」

(読書活動)

44. 「本の補修の方法を教えていただけたので良かったです。地元の図書館とも連携して、子どもたちの読書活動を支えていきたいと思いました。演習が多くてとても良かったです」

(読書活動)

45. 「年2, 3回開催してほしいくらい有意義でした。ありがとうございました」 (読書活動)

46. 「学校司書の方のお話は、今までぼんやりとしていた学校司書の仕事について、司書教諭との違いがよくわかりました。会場設営や検温など、日頃ない仕事が増えても、何とか通常の研修を実施しようと尽力くださっていることに感謝します。ただ、窓が全開で、寒かったです。今後の参加者の方のためにも、上着等の持参を連絡していただけたらうれしいかなと思いました」

(読書活動)

47. 「実際に制作することを通し、生徒の視点からポイントをみつけることができた」

(ものづくり)

48. 「新学習指導要領になって、生活科・総合的な学習の時間がどう変わったのかを具体的に知りたい、また評価との関連を知りたいと思って講座に臨みました」

(生活科・総合的な学習の時間)